

第9回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成24年11月20日（火） 16：00－17：50
2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室
3. 出席者
 - (1) 委員
葛西委員長、松井委員長代理、中須賀委員、松本委員、山川委員、山崎委員
 - (2) 政府側
前原内閣府特命担当大臣（宇宙政策）、加賀谷内閣府大臣政務官、松山内閣府審議官、西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官 他
4. 議事要旨
冒頭、前原大臣から以下のような挨拶があった。
 - ・ 星出飛行士が長期間の国際宇宙ステーションでの滞在を終えて、無事に帰還されたことをお喜び申し上げる。
 - ・ 7月の委員会設置以降、月2回のペースで精力的にご議論頂き、「新たな宇宙基本計画に盛り込むべき事項」につき、10月までに一通りご審議頂いた。
 - ・ これまでの審議の中では「宇宙利用の拡大」と「自律性の確保」という方向性でご議論頂いた。
 - ・ 衆議院が解散されたが、しっかりと政府として取りまとめ、ルールを引きたいと考えている。

○新たな宇宙基本計画に盛り込むべき事項

事務局から資料1について説明があり、本議題に対して、委員から以下のような意見等があった。

- ・ 宇宙科学と宇宙探査のJAXA内における推進体制は、宇宙政策委員会の下で、方向性を議論して、整理すべき。
- ・ 準天頂衛星システムの海外展開については、具体的な分野を可能な限り明示すべき。
- ・ 民間活用の書きぶりについては、民間のビジネスチャンスを拡げることで官民双方が発展するという方向で記述できないか。
- ・ 新たなマーケットを開拓することによって宇宙利用を拡げる視点を明示すべき。そのために、技術研究組合により産学官の協力で進めることも検討すべき。
- ・ 再使用ロケットについても、ロケット戦略の検討の部分で言及すべき。
- ・ 国際宇宙ステーションの経費は削減するとともに将来の宇宙探査の在り方については、有人が無人かを含めて検討すべき。

本日の意見を踏まえ、新たな宇宙基本計画に盛り込むべき事項として、宇宙政策委員会から政府に報告することとなった。

以上